

県仏会報



茨城佛教

第43号

発行
茨城県仏教会
会長 岸野教司




臨済宗妙心寺派 普門山禪福寺 (つくばみらい市)

平素より県内各宗派各ご寺院様に於かれましては、茨城県仏教会に深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、コロナ禍の中でも関係各位の強いご尽力により、茨城県仏教会の活動も徐々に前に進むことが出来たことを改めまして深く感謝を致します。

また当茨城県仏教会では、全日本仏教会および茨城県宗教連盟への参加提携をする中、理事会・総会・各種会議等、年間の事業を開催出来たこと有難く存じます。

尚、特筆すべきは、新型コロナウイルス感染症予防のために延期を余儀なくされた研修会が十月七日に多くの参加者の下に開催することが出来たこと、そして十月十八日には茨城県宗教連盟の設立七十五周年記念大会が開催され、仏教会からも出席を致しましたが、その中で私の茨城県仏教会副会長でもあります黒澤彰哉師が記念講演の講師として招かれ、『ヤマトタケルと常陸風土記』と題し、講演を致し、大会を締め括って頂戴しました。次いで十一月十日に開催されました第五回シヤアラ



今こそ寺院の力を発揮する時

茨城県仏教会 会長
徳蔵寺 岸野教司

サンガの会懇談会では「御朱印の書き方」を研修致し、それぞれのご寺院での御朱印の書き置きを持参いただき、互いに良い研修が出来たかと存じます。これからも多方面にわたり様々な研修を企画致し、相互理解を深めて行きたいと存じます。

さて昨今、人に頼ることの難しい時代になって来ているという世相を鑑み、また宗教に対する意識の大きな変化にどのように対応して活動して行くべきか、お檀家様（檀信徒）や地域社会との関わり方など、茨城県仏教会での様々な研修会等で得たものを通してお檀家様に布教・教化をどう展開し、迅速にスピード感を持って行動に移さねばならないだろうと痛切に思います。

そして今、寺院が果たす役割を考えると、コロナ禍の中ではございますが、今後どの様な布教・教化活動に取り組んで行つたらいいのか、今こそ寺院の力を発揮する時ではないだろうかかと考えます。最後になりますが茨城県仏教会の横のつながりを更に拡充して共に考えて参りたいと存じますので、今後共何卒ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

合掌

県仏活動報告

令和4年度 茨城県仏教会研修会

事務局次長 眞言宗智山派 無量寺 目下 光生

茨城県仏教会（岸野教司会長）は、はすの実家庭児童相談室と共催で、十月七日にホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸において研修会を開催し、同県内の各宗派教師や寺院四十六名が参加した。

講師に日蓮宗本立寺御山主高野光拡先生を招き、「家族面接の基礎知識」～関係性の見立てとコミュニケーション～を演題として研修を行った。

まず、相談を受ける際の「基本的態度」話し手に対し無条件の肯定的配慮を示すことである「傾聴」について学んだ。聞き手の態度により相手が「話しやすい」「自己洞察しやすい」非言語コミュニケーションである。我々のすべての行動はコミュニケーションであり、言語によって内容が非言語によって関係性が伝わるということである。

お寺を訪ねる人の大半は親しい人を亡くした「喪失体験」の最中であると考えられる。

悲嘆の最中にいる人の「言葉や態度など、発するメッセージに耳を傾ける」

「その人の持つ力や努力に注目する」「故人の思い出を語り、喪のプロセスを促していきなこと」「故人との新たな関係性を作ること」「時間の経過を認識し、喪のプロセスを促していきなこと」これらを心掛けお寺に来てよかつたと思ってもらえるような態度を意識したいとおもった。



講師 高野光拡先生



茨城県宗教連盟設立七十五周年記念大会

広報委員 眞言宗智山派 文殊院 黒澤 彰彦

十月十八日（火）、ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸において、茨城県宗教連盟設立七十五周年記念大会が開催された。

大会は二部構成で、第一部の式典では、国歌斉唱の後に世界平和を祈念して黙祷が行われた。その後、各宗教団体に連盟の発展向上の功績が称えられ、当会では前会長の鈴木堯将師が受彰された。

第二部では記念講演が開かれた。講師は、当会副会長で元茨城県立歴史館史料学芸部長の黒澤彰哉師が務められた。

演題は「ヤマトタケルと常陸国風土記」で、『古事記』や『日本書紀』に登場するヤマトタケル（日本武尊・倭建命など）の实在性について話をされた。ヤマトタケルは伝説の存在で、実在しなかつたとするのが定説になっているが、『常陸国風土記』から常陸国内のヤマトタケル巡幸経路を復元した結果、実在の交通路と重なるという整合性から、実在したとする仮説を話された。

記念大会は多くの方に参加いただき、茨城県内における宗教連盟の大切さを

再確認し、有意義な大会とすることができた。



シャーラ・サンガ懇談会
組織渉外委員
天台宗 東光寺 川井 融翠

令和四年十一月十日に水戸京成百貨店九階バンケットルームにて、茨城県仏教会主催のもと、女性僧侶と県仏教会役員による五回目の懇談会が行われました。参加人数は県仏教会より九名、会員より四名です。今回はあらかじめ参加者に自坊の御朱印・日蓮宗の方はご首題をお持ちいただくようお願いし、その発表を行いました。

トップバッターは十月に茨城新聞社にも御朱印を掲載されました岸野教司会長による、御朱印書きの実演です。お願いしたところ、快く引き受けて下さいました。徳蔵寺のご本尊である「大日如来」他、「徳蔵大師」・「寿老人」の合計三種をその場で書いていただきました。朱印と文字の構成や、見栄えするように工夫しているところなど、丁寧に説明を下さりつつも、筆さばきは流れるように書いていらっしやいました。その後は参加者それぞれの御朱印を見せながら、宝仏の説明や、御朱印書きは寺院内で誰が担当しているか、今後ご朱印巡礼者に対してどのようなアプローチをしていきたいかなど、和やかに談笑致しました。また紹介の合間には、黒澤副会長に御朱印の歴史を

ご説明頂いたり、綿引広報部長に日蓮宗のご首題についてお話頂いたりする時間もありました。大変有意義な場となり、参加された関係者全ての方に礼申し上げます。
合掌



今回参加されたシャーラ・サンガ会員様より感想を頂きましたので、以下に載せさせていただきます。

それぞれのお寺さんのご朱印の創意工夫に触れ、大変有意義でした。起源も知る事が出来て勉強になりました。

日蓮宗 徳永 妙乗

各宗派のご寺院方のご朱印を拝見し詳しくお話を伺うことができ、大変勉強になりました。有意義な懇談会をありがとうございました。

天台宗 常葉 倫明

御朱印の歴史や書き方、印の押し方など詳しく教えていただいて勉強になりました。今後自坊でご朱印を書く時に参考にしたいと思います。また御朱印の正しい意味も伝えていく必要があると感じました。

天台宗 宮本 寛子

御朱印を通して、他宗の皆様への教化に触れることができました。

浄土宗 小笠原 聖華

ご宿泊、ご婚礼、総会・会議、お食事会
各種パーティーのご予約承ります



Hotel the West Hills mito
ホテル・ザウエストヒルズ水戸

水戸市大工町 1-2-1 TEL.029-303-5111 (代表)

・・・訂正とお詫び・・・
先の会報四十二号四頁に掲載の宗務機関 兼 評議員名簿に誤りがございました。

真言宗豊山派
第六号宗務支所 支所長
(誤) 石岡市山崎 吉祥院 照沼信興
(正) 石岡市東成井 廣福院 廣瀬隆晶

大変ご迷惑をおかけいたしました。訂正し、お詫びを申し上げます。

茨城県仏教会 役職員名簿

令和 5 年 1 月現在

役 職 名	氏 名	住 所	宗 派	寺 院 名
会 長	岸 野 教 司	城里町徳蔵	真言宗 智山派	徳 蔵 寺
副 会 長	黒 澤 彰 哉	かすみがうら市下志筑	真言宗 智山派	文 殊 院
副 会 長	徳 永 光 由	水戸市城東	日 蓮 宗	妙 道 教 会
副 会 長	奥 田 俊 裕	水戸市元山町	時 宗	神 応 寺
顧 問	中 村 純 崇	水戸市元吉田町	天 台 宗	薬 王 院
顧 問	松 本 一 浩	稲敷市西代	浄 土 宗	調 法 寺
顧 問	鈴 木 堯 將	石岡市貝地	日 蓮 宗	平 等 寺
監 事	永 徳 眞 隆	常陸大宮市上岩瀬	浄 土 宗	誕 生 寺
監 事	山 崎 孝 裕	つくばみらい市城中	曹 洞 宗	瑞 源 寺
事 務 局 長	倉 持 達 哉	坂東市長谷	真言宗 智山派	長 谷 寺
事 務 局 次 長	日 下 光 生	常総市菅生町	真言宗 智山派	無 量 寺
会 計	小 暮 敦 守	常陸大宮市上檜沢	真言宗 智山派	満 福 寺
総 務 部 長	長 谷 川 玄 應	日立市西成沢町	日 蓮 宗	宝 塔 寺
総 務 主 事	木 内 良 尊	常陸太田市上利員町	真言宗 智山派	鏡 徳 寺
教 化 部 長	安 西 仁 人	常陸太田市上宮河内町	浄 土 宗	菊 蓮 寺
教 化 主 事	中 西 良 健	鹿嶋市浜津賀	真言宗 智山派	慈 眼 寺
広 報 部 長	綿 引 海 淳	水戸市見川	日 蓮 宗	妙 雲 寺
広 報 主 事	矢 口 阿 照	石岡市下林	真言宗 智山派	観 音 寺
広 報 委 員	黒 澤 彰 彦	かすみがうら市下志筑	真言宗 智山派	文 殊 院
広 報 委 員	佐 竹 行 信	常陸太田市久米町	浄土真宗 本願寺派	正 念 寺
組 織 渉 外 部 長	瀬 浪 純 圓	水戸市見川 (護國寺内)	天 台 宗	不 動 院
組 織 渉 外 主 事	大 曾 根 良 博	鹿嶋市宮中	真言宗 智山派	護 国 院
組 織 渉 外 委 員	小 林 咲 慧	古河市旭町	日 蓮 宗	四 恩 寺
組 織 渉 外 委 員	川 井 融 翠	水戸市大場町	天 台 宗	東 光 寺

理 事 名 簿

令和 5 年 1 月現在

役 職 名	氏 名	住 所	宗 派	寺 院 名
理 事	渡 邊 英 雅	潮来市洲崎	真言宗 豊山派	普 門 院
理 事	廣 瀬 隆 晶	石岡市東成井	真言宗 豊山派	廣 福 院
理 事	伊 藤 善 典	坂東市馬立	真言宗 智山派	自 性 院
理 事	内 山 晴 隆	那珂市戸	真言宗 智山派	文 殊 院
理 事	常 葉 法 雄	小美玉市竹原中郷	天 台 宗	永 福 寺
理 事	瀬 浪 純 圓	水戸市見川 (護國寺内)	天 台 宗	不 動 院
理 事	出 村 尚 英	大子町袋田	曹 洞 宗	龍 泰 院
理 事	染 谷 典 秀	古河市磯部	曹 洞 宗	安 禅 寺
理 事	横 川 貴 教	境町	日 蓮 宗	実 台 寺
理 事	古 渡 乘 裕	牛久市牛久町	日 蓮 宗	観 成 院
理 事	安 西 仁 人	常陸太田市上宮河内町	浄 土 宗	菊 蓮 寺
理 事	奥 野 輝 秀	水戸市上水戸	浄 土 宗	光 台 寺
理 事	佐 竹 知 信	常陸太田市久米町	浄土真宗 本願寺派	正 念 寺
理 事	藤 眞 澄	水戸市酒門町	真 宗 大 谷 派	光 圓 寺
理 事	四 倉 亮 峰	桜川市真壁町古城	時 宗	常 永 寺

宗務機関 兼 評議員名簿

令和5年1月現在

宗務機関名	役職名	住 所	寺院名	氏 名
真言宗豊山派第1号宗務支所	支所長	常陸太田市岡田町	普門寺	大澤正敏
真言宗豊山派第2号宗務支所	支所長	つくば市栗原	北斗寺	熊田正浩
真言宗豊山派第3号宗務支所	支所長	古河市本町	尊勝院	尾上秀盛
真言宗豊山派第4号宗務支所	支所長	潮来市洲崎	普門院	渡邊英雅
真言宗豊山派中部宗務支所	支所長	笠間市上郷	普賢院	村竹英昭
真言宗豊山派第5号宗務支所	支所長	古河市諸川	宝蔵寺	湯澤宥広
真言宗豊山派第6号宗務支所	支所長	石岡市東成井	廣福院	廣瀬隆晶
真言宗智山派茨城第1教区宗務所	教区長	城里町徳蔵	徳蔵寺	岸野教司
真言宗智山派茨城第2教区宗務所	教区長	神栖市波崎	千手院	黒田照紀
新義真言宗茨城教区宗務所	教区長	土浦市藤沢	神宮寺	森川晃岳
天台宗茨城教区宗務所	所 長	笠間市押辺	宗務所	中村純亮
曹洞宗茨城県宗務所	所 長	つくばみらい市城中	瑞源寺	山崎孝裕
臨済宗妙心寺派東京教区第6部宗務支所	支所長	つくばみらい市筒戸	禪福寺	野村俊光
臨済宗妙心寺派東京教区第10部宗務支所	支所長	鹿嶋市宮中	根本寺	上原広明
臨済宗建長寺派茨城県宗務支所	支所長	土浦市小野	向上庵	三ツ井宗泉
日蓮宗茨城県宗務所	所 長	筑西市甲	星宮寺	相田要練
浄土宗茨城教区教務所	教区長	常総市豊岡町乙	安養寺	吉水成正
浄土真宗本願寺派東京教区茨城東組	組 長	常陸太田市久米町	正念寺	佐竹知信
浄土真宗本願寺派東京教区茨城西組	組 長	常総市蔵持	願牛寺	稲葉眞弘
真宗大谷派東京教区茨城第一組	組 長	境町一ノ谷	妙安寺	中村好
真宗大谷派東京教区茨城第二組	組 長	ひたちなか市平磯町	聴法寺	菊巒真隆
時宗茨城県第8教区宗務支所	教区長	つくば市洞下	西光寺	小笠原仁乗
時宗茨城県第9教区宗務支所	教区長	阿見町掛馬	満徳寺	小林正孝

茨城県宗教連盟出向役員

令和3年～4年度

	役 職	氏 名	宗 派	寺 院 名
1	理 事	岸野教司	真言宗智山派	徳蔵寺
2	理 事	倉持達哉	真言宗智山派	長谷寺
3	評 議 員	永徳眞隆	浄土宗	誕生寺
4	評 議 員	黒澤彰哉	真言宗智山派	文殊院
5	評 議 員	徳永光由	日蓮宗	妙道教会
6	評 議 員	奥田俊裕	時宗	神応寺
7	評 議 員	長谷川玄應	日蓮宗	宝塔寺
8	評 議 員	安西仁人	浄土宗	菊蓮寺

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

期 日	事 業 内 容	開 催 地	参 加 者
4月6日	監査・令和3年度総会資料検証	ホテルウエストヒルズ水戸	6名
4月23日	県仏教会総会	ホテルウエストヒルズ水戸	31名
4月28日	茨城県刑務所出所者等就労支援事業協議会	水戸生涯学習センター	9/8に 延期・中止
5月19日	県宗教連盟理事会・評議員会	茨城県神社庁	7名
6月25日	前監事 石崎信昭師本葬儀	高長寺	会長他
7月12日	第1回広報委員会（茨城佛教42号の件）・理事会	ホテルレイクビュー水戸	24名
7月	茨城県宗教連盟理事会	茨城県神社庁	中 止
8月26日	茨城県戦没者慰霊式典	ザ・ヒロサワ・シティ会館 （県民文化センター）	要請無
8月31日	第2回広報委員会	観音寺	3名
9月	令和3年度 第1回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会（文化庁主催）	県庁 総務課法制担当 029-301-2239	中 止
10月	茨城県宗教連盟研修会	茨城県神社庁	中 止
10月1日	研修会「家族面接の基礎知識」 高野光拡（僧侶・臨床心理士）	ホテルウエストヒルズ水戸	来年 10/7に 延期
11月	令和3年度 第2回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会（文化庁主催）	県庁 総務課法制担当 029-301-2239	中 止
11月4日	シャーラ・サンガ懇談会	水戸京成百貨店9F	来年に延期
12月13日	第3回広報委員会・役職者会議	ホテルレイクビュー水戸	18名
1月11日	第4回広報委員会（最終校正）・理事会	石岡プラザホテル	23名
1月	全仏新年懇親会	東京プリンスホテル	中 止
2月8日	第11回各宗派青年会会長等懇談会	一乗院	中 止
2月14日	第12回各宗派布教師会会長等懇談会	ホテルレイクビュー水戸	中 止
3月2日	県宗教連盟理事会	茨城県神社庁	2名
3月8日	第5回広報委員会（茨城佛教42号発送）	妙雲寺	3名
3月	第9回宗派代議員・都道府県仏教会代議員会議		中 止
3月23日	全日本仏教懇話会・懇談会	ザ・キャピタルホテル東急(東京)	欠 席
3月25日	ウクライナ人道支援金（全日本仏教会へ寄託）		

令和4年度事業計画（報告を含む）

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

期 日	事 業 内 容	開 催 地	参 加 者
4月6日	監査・令和4年度総会資料検証	ホテルウエストヒルズ水戸	13名
4月12日	県仏教会総会	ホテルウエストヒルズ水戸	27名
4月	茨城県刑務所出所者等就労支援事業協議会	水戸生涯学習センター	延 期
4月21日	県宗教連盟理事会・評議員会	茨城県神社庁	8名
7月25日	第1回広報委員会（茨城佛教43号の件）・理事会	ホテルレイクビュー水戸	26名
7月	茨城県宗教連盟理事会	茨城県神社庁	延 期
8月25日	茨城県戦没者慰霊式典	ザ・ヒロサワ・シティ会館 （県民文化センター）	案内のみ
8月30日	第2回広報委員会	観音寺	4名
9月	令和4年度 第1回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会（文化庁主催）	県庁 総務課法制担当 029-301-2239	延 期
10月7日	研修会「家族面接の基礎知識」 高野光拡（僧侶・臨床心理士）	ホテルウエストヒルズ水戸	46名
10月18日	茨城県宗教連盟設立75周年記念大会	ホテルウエストヒルズ水戸	10名
11月10日	シャーラ・サンガ懇談会	水戸京成百貨店9F	13名
11月16日	令和4年度 第2回関東甲信越静地区 宗教法人実務研修会（文化庁主催）	つくば国際会議場	1名
12月15日	第3回広報委員会・役職者会議	石岡プラザホテル	13名
1月12日	第4回広報委員会（最終校正）・理事会	ホテルレイクビュー水戸	
2月1日	全仏新年懇親会	ホテルグランヴィア京都	予 定
2月16日	各宗派布教師会会長・仏教青年会会長等合同懇談会	ホテルレイクビュー水戸	
2月	県宗教連盟理事会	茨城県神社庁	予 定
3月	第5回広報委員会（茨城佛教43号発送）		予 定
3月	第10回宗派代議員・都道府県仏教会代議員会議		予 定
3月	全日本仏教懇話会・懇談会	ザ・キャピタルホテル東急(東京)	予 定

各宗転法

「智山派第一教区活動報告」

真言宗智山派茨城第一教区
寶珠院 深瀬 隆純

令和五年は私共の宗祖弘法大師ご誕生一二五〇年の記念の年に当たります。この勝縁の年を嘉して宗団を挙げて慶讃の諸行事が遂行されている。建築関係としては智積院会館の建て替え・金堂の修復・宝物館の新築などである。

一方で慶讃法要も開筵されている。慶讃法要は前期と後期に修されるが、本年十月から前期法要が開筵された。まず五日に開白法要があり宗派の要職の方々が出仕される庭儀付き法要が厳修された。その後、智山派の教区は八ブロックに分けられているが、ブロック毎の慶讃法要が修された。六日に東北・北海道ブロック、そして七日に茨城が属する北関東ブロックの法要が行われた。北関東、即ち茨城・栃木・群馬の各県である。ちなみに慶讃法要の前期は十座が修せられ、翌年五月からの後期は四月に総本山善通寺で御誕生記念大法会があり、五月に三座行われる。いずれも宗派を挙げての大法要になる。結願法要は六月に両祖大師誕生

会「青葉まつり」が修せられて一連の慶讃法要が締めくくられる。

扱って、今回の慶讃法要の職衆は二十四口であり、茨城第一教区には四人の職衆が要請された。五月の教区総会で実施要綱が岸野教区長から報告され、教区役員からの出仕という慇懃もあり末席の私もこの勝縁の機会に出仕させて頂くことにした。七月になり、出仕要綱・法要手鑑などが本山から送られてきた。普段読誦しない經典などもあるので朝勤行で勉強を重ねる。

猛暑の夏が過ぎ、十月の声を聞くと多少涼気を感じるようになる。十月六日朝、常磐線水戸駅より東京駅に出て京都に向かった。昨年、私の弟子が智積院専修学院にお世話になっていた関係で五回ほど本山に行く機会があったが、例のコロナ禍で新幹線は空席が目立った。この日は隣席にも乗客がいて物流や人の交流に復興の兆しを見るこ

とが出来た。当日午後習礼を行う。集会の間で会奉行より縷々説明を受ける。装束を着けた二十四人の職衆と十弟子を従えた大導師が一同に会する様は壯観であった。大玄関から参道を一列になつて金堂に上堂する様はそれ以上に莊嚴なものであった。草鞋を履いて金堂に上堂し、自席に至り着座する。私達地方寺院住職は団参などで本山参拝し

ても下陣で法要に随喜するのみで、職衆として法要に出仕する機会はほとんどなく、今回の出仕は得難い機会である。

多少の省略はあったが無事に法要を終え集会の間に戻る。大導師と会奉行からそれぞれ言葉頂いた。それぞれ初見の職衆だが非常に調和のとれた読経だったと会奉行が褒めた。事実、金堂の大空間に響く読経は破綻もなく素晴らしいものだと思合せて職衆自身が感じていた通りである。散会して翌日に備えた。私達は随喜の二名を含めた六名で夕餉を楽しみ英気を養った。

翌日、法要当日は生憎の本降りの雨となつた。予報も未明からの雨を示唆して致し方ない仕儀ではあるが、晴天の中で法要を営みたいという希望は果たせなかった。ただ傘をさして整然と上堂する様子は、これは知人が動画を撮影してくれていたのだが、風情を醸し出して結構なものだった。法要自体は習礼同様素晴らしかった。

ただ一度習礼をしただけでは思えないほど読経の音が揃っていて、広大な金堂内に気持ち良く行き渡り、快い緊張感の元に法要を修し終えた。

終了後宗務総長の謝辞があり、記念撮影してから集会所に戻った。大導師は挨拶で「この雨は皆の真心の籠った読経にお大師様が法悦の涙を流された



創業 明治26年

お線香・かおりの店 **坂場商店 小売部**
寺院用長寸線香・進物用線香・お香・香炉 各種
水戸市本町2-7-8 tel: 029 (231) 6217

日用品・雑貨卸業 **坂場商店 卸本部**
日用品、雑貨、文具、事務機器 各種
水戸市浜田2-15-39 tel: 029-225-3138



のだろう」と仰られ、成程と一同感じ入ったものだった。その後智積院会館内で祝宴が開かれ、上座の方々の謝辞・祝辞を聞きつつ同席の方々と労いあった。お大師様ご誕生記念という機会に慶讃法要に参加させて頂いたことは誠に有り難い機会であった。

尚、茨城第一教区に於いても十一月四日に水戸市内のホテルを会場に、慶讃法要と基調講演を行う予定であり、機会があればそれらについても報告させて頂きたく思っている。これを以て教区活動報告とさせて頂く。

「日蓮宗北関東教区・布教講習会
『新たな心構え』
〜宗祖七五〇遠忌を見据えて〜」
日蓮宗宗務所長 星宮寺 相田 要練

日蓮宗茨城県宗務所は、令和四年度北関東教区布教講習会を当番管区として、令和五年二月二十日に水戸京成ホテルで開催した。本年度の研修テーマは『新たな心構え』〜宗祖七五〇遠忌を見据えて〜開催趣旨【十六年間の長きに亘って展開してきた宗門運動「立正安国・お題目結縁運動」並びに「宗祖降誕八〇〇年慶讃事業」は今年度をもって愈々終了となる。即ち最終年度

を総括年度として位置付けられた今日、我々はこれまでの点検評価を踏まえながら、新たな目標へ向けての指針を考えなければならぬ。こうした移行期を迎えるに当たり、現場の布教教化に携わる我々教師自身は、より能動的で自発的な創意と工夫をもって、日々の布教教化活動に当たるべきであると思料する。そこで今回は、宗門の伝道推進委員会委員長・伝道企画委員会委員・常任布教師等をお務めの京都市常照寺住職・奥田正叡師を講師に迎えて、来たる「宗祖七五〇遠忌」をお迎えするに当たつての「我々教師の心構えについて考える場」を設けてみた。以って各自のモチベーションアップを図り、これからの布教教化の在り方を捉え直す研修にしたいと考える。ひいては、こうした研修を深める事で未信徒教化をも含めた教線の拡張推進を図り、以って宗門が掲げる布教方針「いのちに合掌」の推進活性化に寄与することを目的とする」とのも行った。

「天台宗一隅を照らす
運動推進茨城大会」
大圓寺 榎戸 俊道

去る、令和四年十月一日に第二十二回天台宗一隅を照らす運動推進茨城大

会が妙香寺（稲敷郡美浦村）を会場に開催されました。

天台宗一隅を照らす運動推進大会は、「一隅を照らす、此れすなわち国の宝なり」という、宗祖伝教大師最澄様のご精神を現代に生かすこと、また、参加者に「一隅を照らす」精神をより一層深めていただくことを目的とし、茨城県を八つの地域に分け、その八つの地域で順番に、年に一回開催しており、今回の大会は、第五部の御寺院様に担当していただきました。コロナウイルス感染防止の為、令和二年度と三年度は開催を見送りましたが、本年度は開催の運びとなり、実に三年ぶりの大会となりました。

講師には、長壽院住職 比叡山千日回峰行者 藤波源信大阿闍梨様をお迎えして、「日々の生活の修行」と題して講演をしていただきました。

千日回峰行とはどのような修行なのかを、ご説明していただきながら、修行は厳しいイメージを持たれるが、皆さんが送られている日々の生活と何も変わらない。仏様に近づくには日々の生活が重要であり、一人一人の日々の生活があるから、自分の日々の生活もできるのだと感じてほしい。というお話を拝聴して、生きていられること、日々生活が送れることへの感謝を忘れ

創業150年にわたる実績と信頼でお客様の期待に応えます。
墓石・寺院仏具のことなら、笹本石材にお任せください！
笹本石材(株) 創業明治三年
石とお仏壇 ささもと
フリーダイヤル 0120-019-148
QRコードからホームページへアクセスできます。
鹿嶋本店 鹿嶋市宮中1-10-10 ☎ 0299-82-1548
佐原店 香取市佐原木335-3 ☎ 0478-55-1401
東店 稲敷市西代1202 ☎ 0299-78-3301



ではいけないのだと改めて感じました。今年度は、コロナウイルスが全国に蔓延してから初めての大会ということもあり、少人数での開催となりましたが、色々とご理解を賜り、講師先生をはじめ、ご参加くださいました方々、ご準備をしていただきました第五部の御寺院様、そしてご参加していただきました檀信徒の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

「看仏連携」

浄土真宗本願寺派 阿闍世の会代表
清心寺 増田 廣樹

浄土真宗本願寺派茨城東組青年僧侶の会（阿闍世の会）では、二〇二二年九月七日同宗派安楽寺（水戸市元吉田）において、福祉施設を運営するNPO法人「わ」（千葉県九十九里町）の副理事長で看護師の潮礼佳氏をお招きし看仏の連携を模索する研修会を開催した。

潮氏は冒頭、国内での死者数を取り上げ、またその死を取り巻く環境等について、自身の見てきた事などを中心にお話くださった。潮氏によると、二〇二〇年国内の死亡者数は一三二万二六四八人。二十年後の二〇四〇年には一六六万人と予想され、今以上の多死社会となる。また、超高齢化社会の中で、その死を支える人口も限られてくる。加えて核家族化、貧困化など複合的に問題が重なり、医療にアクセスできず孤独に亡くなる方が多くなる事も容易に想像がつく。一人ひとりが人間として生まれてきた意義を少しでも感じていただくために、看護と仏教が独立して活動するのではなく、一体となり支えてゆく事が必要と呼び掛けてくださった。

看仏連携という言葉は文字通り看護（医療）と仏（仏教）の連携である。一般社会においては治療を目的とした医療と、死のイメージが強い寺院には大きな隔たりがあるように思う。死を境に医療から仏教にバトンが渡され、互いの情報が共有されることは少ない。一人の人間を生と死で隔て関わるもの（頼る存在）が変わる現状は、患者とその家族にとって有益なものではないだろう。



研修会風景

講義の中、潮氏の「多様化する社会では様々な生死観が生まれる。心のケアを担う人材は必要不可欠であり、一

人でも多くの僧侶にサポートしてほしい」と強調された上で「僧侶は人が亡くなっても近くにいることが許される職種。また、死を語ることが許される唯一の職種。」とも指摘された事が印象深く残っている。職種に違いはあるが、いのちを思う気持ちは同じ。僧侶が病院へ。医療が寺院へ。双方の歩み寄りの中、一体となって社会一人ひとりと向きあつてゆきたい。



Twitter 

公式HP 



Facebook 

YouTube 

Ly

婚礼・宴会・宿泊
会議・レストラン

お気軽にお問い合わせください

●水戸駅(南口)下車徒歩3分 ●駐車場240台 〒310-0015茨城県水戸市宮町1-6-1
お問い合わせ・ご予約 029-224-2727



かすみがうら市下志筑の庚申供養
 真言宗智山派文殊院 黒澤 彰哉

◆ 庚申信仰とは

庚申信仰は、中国の道教に起源があるといわれている。暦の庚申（かのえさる）の夜に、胎内にいる三尸（さんし）という虫が抜けだし、天帝にその人の罪過を告げ口すると信じられていた。この告げ口により、人の寿命が決まるとされていたため、年に六度ある庚申の夜は、飲食をしながら寝ないでいるという習俗が生まれたのである。

日本における庚申信仰の発祥地は、大阪四天王寺の庚申堂で、文武天皇（六八三〜七〇七）の時、四天王寺の僧豪範が青面金剛に祈ったところ、疫病が無事に収まったので、それから庚申信仰が始まったといわれている。

庚申信仰は、江戸時代で大流行した。疫病を恐れる人々が、村境に庚申供養塔や庚申塚を築き、疫病が村に入るこ



青面金剛像

まず、下志筑という地区であるが、江戸時代は新治郡下雫村（七百三十石）で、旗本の本堂家の領地（八千五百石）に属していた。村内には文殊院と門徒寺の円乗院があり、神社は八幡神社と稲荷社であったため、村の宗教行事は神社があつたが、



下志筑庚申塚
 下志筑地区と市川地区の境界に築かれている

とを防いだのである。ただ、それだけの理由で大流行したわけではなく、当時の農民には定期的な休みがなかったため、庚申供養を理由にして体を休めたのである。

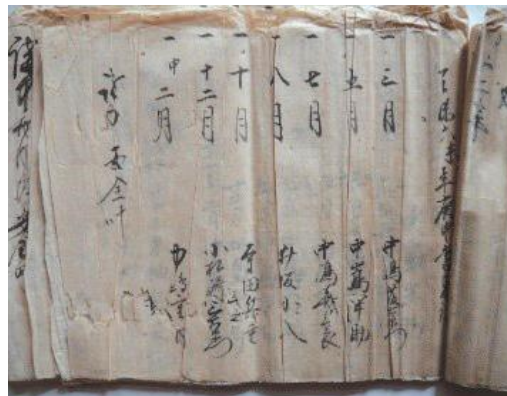
◆ 下志筑の庚申供養

庚申供養は、県内各地で行われていたが、現在も続いている地区は少ないのではなからうか。そこで、現在も行われている、かすみがうら市下志筑の庚申供養を紹介してみたい。

まず、下志筑という地区であるが、江戸時代は新治郡下雫村（七百三十石）



塚の上に突き刺された箸
 6年間使用された箸が用いられた
 現在は割り箸を使用している



当家の名前が書かれた記録簿



名前が書かれた箸袋
 江戸時代、農民の名前は非公式には存在した

どちらも文殊院が別当文殊院の住職によって行われていたようである。

下雫村には六つの庚申講があり、行政組織である坪を横断し、仲の良い家々で構成されていた。庚申供養は、年に六〜七回（現在は年に一度）行われる小供養と、六年ごとに行われる大供養がある。

各講の資料をみると、最も古いのは寛延二年（一七四九）の年号で、大阪四天王寺の木版画が収められた箱に書かれている。他の講でも寛政十年（一七九八）、嘉永三年（一八五〇）などの年号が見られる。

このほかの資料には、名前が書かれた箸袋や、当家にあつた戸主名が書かれた記録簿が存在している。箸袋は、小供養の飲食に際して用いられた箸を入れていたもので、六年間同じ箸が使われていた。

この小供養で使われた箸は、大供養の際に、庚申塚の上に×形に突き刺されることになる。伝承では塚固めと言われており、後述するように大供養を庚申塚で行う理由がそこにあるようである。

なお、小供養は当家持ち回りで行われ、かつては食べきれないほどのご馳走が並べられた。しかし、これが負担になることから、講を抜ける家が増えてきている。県内各地で行われていた庚申供養が廃止されるようになって



文殊院客殿での直会
現在の直会は全員が集まり、仕出し料理で行われた

庚申塚での直会
以前は、講ごとに当家の胴上げや餅撒きが行われた

令和4年の下志筑庚申講の参加者
前回の平成28年は約60名が参加、今回は約20名の参加となった

たのも、当家の負担が大きかったこと、庚申信仰の目的意識が薄れてきたことが背景にあるようである。
下志筑でも、六つの講のうち現在も行っているのは三つの講だけとなってしまった。しかも、講の人数は半分以上に激減している。当家持ち回りで行われていた飲食も、近年は会費制で飲食店を利用するようになってきた。

大供養は、南と北の村境に築かれた庚申塚で、六年ごとに交互に行われる。これは、江戸時代の境界争いが原因のようで、下雫村は隣村の市川村や府中平村（現石岡市）と境界争いがおきていたことから、庚申塚を築いて村の境界を明確にしたのである。下雫村では庚申塚の中に寸法を測った石を入れたとの記録があり、塚を移動させられなかったための工夫が行われたのである。つまり、六年ごとに庚申塚で大供養を行うのは、単なる信仰上の問題だけではなく、村の人々が庚申供養に参加することで、村境の確認を行ったのである。大供養を「塚固め」といったのも、そういう理由からなのである。今回の大供養では、五穀豊穡と疫病退散を墨書した杉塔婆を立てた。疫病退散の願いだけは、昔と変わらない人々の強い思いがあるのである。

◆大供養の目的

大供養は、南と北の村境に築かれた庚申塚で、六年ごとに交互に行われる。これは、江戸時代の境界争いが原因のようで、下雫村は隣村の市川村や府中平村（現石岡市）と境界争いがおきていたことから、庚申塚を築いて村の境界を明確にしたのである。下雫村では庚申塚の中に寸法を測った石を入れたとの記録があり、塚を移動させられなかったための工夫が行われたのである。つまり、六年ごとに庚申塚で大供養を行うのは、単なる信仰上の問題だけではなく、村の人々が庚申供養に参加することで、村境の確認を行ったのである。大供養を「塚固め」といったのも、そういう理由からなのである。今回の大供養では、五穀豊穡と疫病退散を墨書した杉塔婆を立てた。疫病退散の願いだけは、昔と変わらない人々の強い思いがあるのである。

早さと正確をモットーに
より美しく、より創造的なプリントワークをめざして

セントラ印刷株式会社

〒310-0817 水戸市柳町1丁目1番1号
TEL 029-224-4535
FAX 029-225-5007

ご旅行のご用命は・・・

SHOKA TOURS **ビーエス観光**

御本山参拝・各地巡礼巡拝・
祖跡霊場参拝・中国シルクロード
お釈迦様の聖地
インド巡拝・ミャンマー仏教遺跡 … など

**海外・国内・団体・個人問わず
お問合せ下さい!**

本社営業所 東京都港区新橋 3-2-7 TEL03-3502-4041

茨城共同サービス株式会社

JA 祭典
優しいお葬式をご提供いたします

フリーダイヤル **24時間365日対応**
0800-8006-506
どんな事でもお気軽にご相談ください。

ホームページはこちら
<https://www.ibaraki-kyodo.jp>

QRコード

■東水戸ホール ☎029-247-5942	■おくのやホール ☎029-219-0983	■源想園 中央水戸ホール ☎029-297-7722	■城里ホール ☎029-291-4194	■ひたちなかホール ☎029-285-5942	■金上ホール ☎029-354-0983	■那珂ホール ☎029-352-0983	■ほこたホール ☎0291-34-0983	■なめがた潮来ホール ☎0299-80-1889	■いなしきホール ☎0297-87-5942	■小絹ホール ☎0297-52-5942	■山王ホール ☎0297-70-4194
-----------------------	------------------------	----------------------------	----------------------	-------------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	--------------------------	------------------------	----------------------	----------------------



税務調査への対応法 (支出編)

真言宗智山派
阿弥陀院住職・税理士
河村 照円

石岡市にて真言宗智山派阿弥陀院の住職をさせていた、だいている河村照円

といます。法務の傍ら、税理士として主に寺院の会計・税務・運営相談などを行っており、教区や青年会などの講演や『月刊住職(興山舎)』や『地域寺院(大正大学出版会)』の連載記事の執筆なども行っています。前号に引き続き、私が各地のお寺の顧問税理士として経験してきた税務調査について、その対応法をご紹介したいと思えます。

- ①電話で調査日程の連絡
- ②日程確定後、詳細な必要書類などの連絡
- ③お寺にて税務調査開始(多くの場合二日間)
- ④初日は概要の質問と収入の調査
- ⑤二日目は初日の流れを受けて収入の調査(支出の調査)
- ⑥その後指摘事項の連絡
- ⑦異義がなければ納税 異義があれば

ば不服申し立て(裁判)

前号まで税務調査が行われるまでの準備編、そして税務調査中の収入編というところでご紹介いたしました。今回はおもに⑤の二日目から行われる支出内容の調査について対応法をご紹介します。

◆支出で注意するのは

「生活費混在」と「源泉税」

税務調査では実際に帳簿や領収書のチェックが行われます。調査官が帳簿や通帳のどこを見ているのか事前にある程度把握しておく、質問にも心の余裕を持つて対応できるようにします。具体的には「支出の中に生活費が混在していないか」「給料や報酬の源泉税が正しく計算されているか」の二点がメインとなります。お寺のためだけに支出したものであれば、それはお寺の経費となり税務調査でも問題になりません。しかしお寺にも使えるけど、生活用にも使える支出については質問を受けることがあります。また年末調整の計算が正しく行われていなければ、所得税の税額に過不足が生じていることとなります。さらに税理士や司法書士への報酬、講演料や原稿料、デザイン料といった報酬に対しては支払側

であるお寺において、一〇・二一%の所得税を預かり税務署へ納税する義務を負っています。落語家やコンサート歌手への謝礼にも所得税を預かることとなっていますので、このような支払いがないかどうか確認されるわけです。税理士や司法書士への報酬は相手側がプロですので発行される請求書に源泉税が記載されています。ですので注意深く書類を見ていけば納税漏れを防ぐことができます。しかし歌手やデザイナーなど、源泉税の存在を知らない方も多くいらつしやるため、請求書の中に記載されていないことも珍しくありません。そうすると寺院側においても納税が漏れてしまうことが多いのでご注意ください。

◆飲食代の領収書に同席者の氏名を記入

支出について税務調査で比較的に見られやすい項目のひとつが「交際費」。つまり接待などの飲食代です。これは果たしてお寺の活動と関係ある飲食代なのか、帳簿や領収書を見ただけでは判断がつかえません。そして金額や頻度が多いと、どうしても本当にお寺の活動に必要だったのか、疑問を持たれてしまいます。

いくらまでならお寺の経費にできる、といった上限値はないもの、お寺と

の業務関連性は疑われやすいので、こちら側が意思表示をしていきます。そこでぜひ行っていたいただきたいのが、飲食代の領収書に同席していた人の所属(寺院名など)と名前を記入しておくことです。そして同じ内容を現金出納帳の摘要欄にも記載しておきます。こうすることで「お寺の活動で使用した飲食代です」という意思表示となります。ただし、この方法でも無限に交際費を経費にすることはできませんので悪用しないでください。

◆宗教用はその用途を記載しておく

たとえば供物として「りんご」をスーパーで購入したとします。税務調査官はこのとき「りんごを家族で食べた」と判断することがあります。一般の人の感覚では、りんごは食べ物です。しかし、お寺では供物して購入することもありますし、贈答用や来客用として購入することもあります。つまり自分で食べるだけではなく、お寺の活動に使う場合があるわけです。これを意思表示するため、現金出納帳の摘要欄に「供物用」や「贈答用」といった記載をされると良いです。

また税務調査で三年前に購入したりんごをどのように使ったのか、正確に答えられる方はほとんどいないと思

います。答えられないと生活費と認定されて給料課税をされてしまう可能性があります。そのような課税を防ぐためにも、使途の記録はとて大切になってくるのです。

◆生活費が混在する支出

電気代や水道代など、お寺の経費と生活費が混在するような支出もあるかと思えます。この境界線を厳密に区分することが難しい場合、合理的な基準によって按分をしていきます。たとえば電気代であれば床面積の割合で按分する、水道代は一般的な家庭の平均額を使用し、それを超えた分をお寺の経費にする、などのように客観的な按分割合の基準があるとより説得力をもって主張することができます。なお一般的な家庭の平均額は毎年総務省が統計データを発表しており、総務省のホームページ（統計データ―家計調査）からその情報を見ることができます。

◆本葬儀は民間の社葬と同じ

住職や元住職の本葬儀費用をお寺で支出することは、一般の会社が社長や会長の社葬を行うのと同義ですので、社会通念上の範囲内の金額であれば経費として認められます。ただし本葬儀の前に近親者で葬儀を行った場合の密

葬費用については、お寺の経費にすることができません。また本葬儀と密葬の二回に分けて行わず一回で行ってしまった場合については、香典収入の割合等に依りて支出額も按分計算を行うと良いでしょう。

また住職の奥さんや副住職、つまり役員ではない従業員の葬儀については、一般の会社でも社葬を行うことが慣例としてないので、多くの場合、お寺の経費として認められません。しかしお寺のお金を使って、葬儀費用を捻出することができません。それは「退職金」です。お寺で退職金規定を制定し、実際の退職時又は死亡退職時にお寺から退職金を支給することができるのです。この退職金の財源をもとに葬儀代をすれば、最終的にはお寺で支出したと同一効果となります。

また退職金は税金計算においてとても優遇されており、在籍一年あたり四十万円（在籍二十年を超えると七十万円）の退職所得控除の適用を受けられます。たとえば副住職時代から通算四十年お寺に在籍していれば二千二百万円までの退職金を受け取っても所得税が課税されません。これが退職金ではなくボーナスとしてもらってしまうと、他に収入がない人であっても所得税だけで約三百万円かかることになり

ます。実際の退職の事実のほか、退職所得の受給に関する申告書を記載するようにしておいてください。また役員退職後に従業員としてお寺に在籍することは可能ですが、以前の給料の半分を超えないようにすることも注意の点のひとつです。

◆税務調査は資料集め

二日間の税務調査が終わっても、決着するのはもう少し先になります。後日、調査官から電話があり、お寺の問題点をまとめて指摘を受けます。それに納得すればその旨を伝え、その後に納付書にて税金を納めて終了となります。もし調査官の指摘に納得がいけない場合には、税務署長に異議申し立てを行って、最終的には裁判で決着をつけることとなります。

以上、全三回にわたり税務調査での対応法をご紹介いたしました。税務調査は気分的に良いものではありませんが、いつ税務署が来ても大丈夫なように日頃から帳簿を整理しておくこと、持ちに余裕が出来ます。拙稿が少しでも参考になれば幸いです。

河村 照円

(阿弥陀院住職 税理士・行政書士)

〒三一五〇一三三
茨城県石岡市半田一一一七
TEL 〇二九九一四二二〇〇三
FAX 〇二九九一四二二四三三一
ホームページ
<http://www.i-otera.com/>

★講師依頼承ります

教区や青年会などの勉強会で、僧侶目線で会計や税金の解説をしています。

故人を偲ぶ 大切な御法要後の会食に・・・

石岡プラザホテルの 御法要会席

駅から近く 好評を頂いております
その他 同窓会
各種ご宴会も承ります

石岡プラザホテル

〒315-0014
茨城県石岡市国府1-6-33

ご予約・お問い合わせは

0299-24-1110 または 0120-140-408



自由投稿

「鐘の音と風とー縁起の世界ー」

真言宗智山派
自性院 伊藤 善典

『三途八難 息苦停酸』
法界衆生 聞声悟道

これは、梵鐘を鳴らすときに唱える「鳴鐘の偈」で、仏の道にご縁のない人には、その道へ導かれますように。仏の道にご縁の深い人には、さらに仏の悟りが得られますように。という意味です。朝夕六時に響く鐘の音は、このような願いを込めて田畑を渡り野を越えて皆様の許に届けられます。

同じ声の人はいないように、各寺によつて鐘の音色や余韻も様々ですが、「鳴鐘の偈」からすると、より多くの音色が聞こえるほど御利益も大きいといえるかも知れません。

境内でも高い位置にある鐘楼に立つと、日の長さや風の冷たさなど季節の微妙な移り変わりを日々肌で感じますが、これまで鐘を撞いていて不思議に思うことが一つあります。

ごく稀にはありますが、撞いて間もなくすると東風が吹き始めるということです。はじめは、朝夕の気象が変

わる時間がたまたま六時頃に当たり、鐘と風は関係ないだろうと思つていました。しかし、鐘を撞いた後注意して見ると今まで動かなかつた木の葉が次第に揺れ始め、赤いのぼり幡も徐々に強く翻る様子を見て、鐘の音が空気を揺らし、風を呼んでいるのかも知れないと思ひ始め、自心の中で確信に近いものになりました。

地球の裏側、アイスランドにあるラキ火山の噴火が、天明の飢饉やフランス革命の要因になったと言う事実からも、近年地球上で起きている様々な問題が案じられます。

全てが関わりの中に存在する「縁起」は、仏教の根幹をなす教えで、真言宗では「重々帝網」というお大師様の言葉がそれを示しています。

鐘と風の関係は、私だけの思い込みかも知れませんが、個々があらゆるものの関わりの中で存在するという「縁起の法」は永遠不変の真理です。

個人の思いや行いが、知らぬ間に与える周囲への影響を考えると、自由より責任の重さが今問われるのではないのでしょうか。(コラム法話)



「長嶺ヤス子、曼陀羅」の追憶

真言宗豊山派
龍雲山 普門院 渡邊 英雅

去る令和四年十一月七日 東京新宿区文化センターホールにおいて、舞踊家 長嶺ヤス子の『安達原』の舞台に僧侶の一人として出演致しました。私にとつて、長嶺ヤス子さんの舞台に出演したのは、一九八四年のニューヨークカーネギーホール『曼陀羅』以来、実に三十八年の歳月が流れておりました。恥ずかしながら豊山派の若手僧侶に混じり、昔の公演を思い出しました。(詳細：(nagamineyasuko)インスタグラム【2020.10.14〜10.24迄】を参照下さい)

私と長嶺ヤス子さんとの出会いは、大正大学二年生になつて間もないころ、渋谷NHK大ホールで長嶺ヤス子『娘道成寺』の舞台を観劇して、とても感銘受け、舞台裏に長嶺ヤス子さんを訪ねた時が始まりです。ヤス子さんいわく、次回公演は、『曼陀羅』のタイトルで「僧侶のお経だけで踊りたい」、幼少の砌よりお坊様のお経で心が癒されていたので、「現在、協力してくれる僧侶を探しているところです」と聞かされました。私は、怖いもの知らずで若げの至りもありましたが、その場

報 恩 殿

葬儀のすべてを信頼と実績のある老舗(創業明治元年)の当社へ安心してお任せください。



(株)齊藤豊元社

水戸市東台1-12-16 FAX029-221-3794

TEL 029-221-3630

http://www.hougensya.com

事前(生前)打ち合わせ無料 秘密厳守

葬祭場 報 恩 殿

水戸市谷田町908-1
TEL029-300-4531

で『曼荼羅』は弘法大師空海が説かれた教えでも有り、「是非、真言密教の声明（シヨウミヨウ）で演ずるべきだ」と力説したのが始まりで、その御縁で、豊山派の僧侶八十数名のご理解とご協力・ご尽力で、長嶺ヤス子さんの『曼陀羅』公演が一九八三年NHK大ホールで二回行われ、当時の豊山派現下直々のお声掛けによって、翌年ニューヨーク「檜舞台」と云われた、カーネギーホールでたった一度きりの『曼陀羅』舞台公演が実現したのでした。

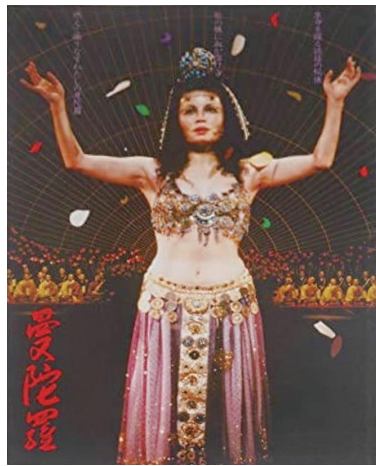
私は、大学で指導を受けていた石井聖己阿闍梨に先ずご相談をした結果、阿闍梨様も、当時事相研究所の新進気鋭の*先生方に協力を要請したところ、ご理解を得られ多少の紆曲折や困難を伴いましたが、何とか話を進めることができました。この当時、スペインFLAMENCO系創作舞踊家、世界的にも活躍中の長嶺ヤス子さんの舞台にお坊様が一緒に共演することは、タブーに近い雰囲気がありました。石井阿闍梨始め参加する僧侶の先生方にも、様々な圧力があったことを後に聞かされました。しかし、NHK舞台公演で好評を博し、小松原賢譽現下よりお墨付きをいただけたからこそ、成功を勝ち得ることができました。それはとても画期的な事で、カーネギーホールの四階

迄満員御礼で建物周囲にサーチライトが点灯し、大変なことになりました。翌日のワシントン・ポスト、ニューヨーク・タイムズを始め、『曼陀羅』公演の話題で持ちきりになりました。

日本では、朝日新聞の『ひと』に小松原現下、読売新聞には石井聖己阿闍梨が写真入りで掲載された程です。時代は、まさにバブル経済真っ只中であつた事を思い出します。

『曼陀羅』公演の内容は、真言宗の如来最上の経典『理趣経』を始め、『大般若経六百巻転読』『般若心経』『観音経』『真言陀羅尼等』お経（大太鼓と法螺貝を用いて）舞踊する独自の舞台演出であり、演舞であります。仏の悟りの境地が表されている長嶺ヤス子さんの『曼陀羅』の舞台は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天の六道：外金剛部に至る心の世界が描かれています。下化衆生・上求菩提の悟りに至る物語です。現在、その記憶が走馬燈のように蘇ってまいります。現在八十六歳を迎えた長嶺ヤス子さんは今も舞台上に立っております。

当時、四十八歳の舞踊家は、それを見事に演じきつたばかりか、菩薩に生まれかわり、ニューヨークカーネギーホールに弘法大師より一二〇〇年前に伝えられし真言声明が響き渡り、曼



茶羅（悟りの）世界が出現されたのでした。
参照*迦陵頻伽声明研究会（青木融光阿闍梨の門下生）



はせがわ

つなぎます。心と、いのちと、人。

☆会報誌をご持参の上、はせがわ茨城県内店舗にてお仏壇をご購入の方に限り、特別割引価格にてご購入いただけます。

・水戸バイパス店・荒川沖店・勝田店・守谷店・イーアスつくば店
水戸バイパス店 電話 0120-724-150

「命ある熱き剛鉄輪」

真言宗智山派

文殊院

内山

晴隆

私は蒸気機関車が好きで小学校低学年の頃より、デコイチの機関士に憧れを抱いていました。

埼玉県飯能市の生家の近くには八高線が通っていて、隣の高麗川駅には日本セメントの工場が有り、いつも数両の機関車が止まっていて機関車好きの父はよく私を見せに行ってくれました。

東京オリンピックと高度成長の最中、昼夜問わずセメントの原料や製品を出荷するD51の牽く貨物列車が行き来して、その勇壮な姿と排気音、それを運転する機関士に羨望を持って見送りました。国鉄は動力近代化の下に昭和四十三年を境に蒸気機関車の淘汰が始まり、急速にその姿が消えて行き、SL機関士への希望が無くなってしまいました。※昭和四十五年十月をもって首都圏から蒸気機関車消える。

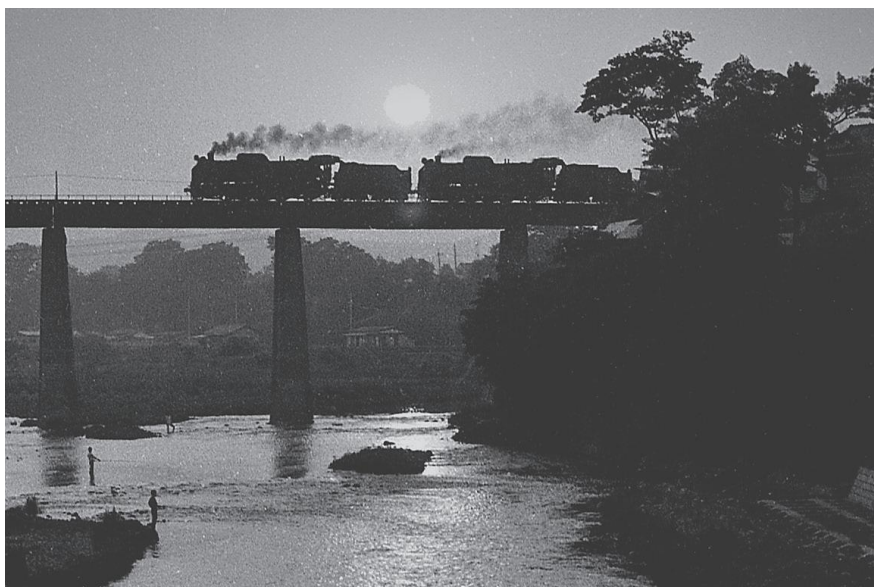
中学になってからはその姿を記録に残そうと写真を撮るようになり、休みの日は飽きずに駅で機関車を眺める日々、高校時代は写真部に属し、修学よりも写真の現像液に浸かっていることが多く、休みには北海道や東北へ遠征撮影旅行に出かける学生生活でした。

蒸気機関車の魅力は何と言っても煙を出し、その排気音と車輪に結ぶピストンとクランクのダイナミックな動きでしょう。私は駅構内で止まって休んでいる時も好きで、熱によるボイラーの軋み、ボコボコとお腹が鳴くようなお湯が沸く音、時折滴る水、思い出しただかの様に作動するブレーキコンプレッサ、そして機関車の体温、その様子は巨大な生き物が息を吐いているかのようなです。

数あるデコイチでもそれぞれ性格（性能や特徴を機関士の方は表現している）があり、力があり粘りが効くもの、煙が出やすく力が無い、力はそのこそこでも乗りやすいなど、設計は同じでも、出生の工場や製作過程に於いての微妙な環境の違いなどで変わり、また水、石炭の質、その日の天候などもコンディションに大きく表れると言われています。

現在全国に産業遺産として動態保存の蒸気機関車十六輛が本線上を走っていますが、機関車を走

らせる現場の人達の苦労は並大抵ではありません。特に夏場の機関室は、時には摂氏五十度にも達し汗だくの運転だそうです。傷んで修復できないものは新たに製造し、シリンダーやクランクシャフト擦り合わせ（車軸、動輪、クランク、ロットにはベアリングが無くミリ単位の線があり良質のオイルで保たれている）など、指の感触による



落日の入間川橋梁 八高線 昭和四十五年七月撮影



有限会社

平野屋清太郎商店

念珠の修理、
仕立て替え
承ります。



念珠
寺院用仏具
記念品

〒113-0034 東京都文京区湯島 4-5-3
TEL:03-3811-4450 (代) FAX:03-3811-4405

URL:<http://www.hiranoya.info>
E-mail:hira2000@lime.ocn.ne.jp



春爛漫の一之戸川橋梁（鉄道産業遺産）磐越西線 SLばんえつ物語号
平成二十六年四月二十六日撮影

匠の技によって支えられています。長く走った後で駅の停車中に機関士は足回りの点検の際に人の体温を測るかの様に車軸を素手で触り、発熱がないかを確かめます。機関士、機関車を保守整備の方々が口にするのは「煤と油、汗まみれで厳しい仕事だけれども手を掛けるほど元氣よく走って答えてくれる。人々が喜

ぶ姿を見るとその達成感は何物にも替えがたい」と言います。水郡線にも幾度か記念SL奥久慈号が走りましたが、機関車を借り受ける機関区では無火回送された機関車に火を焚く前に必ず神事の火入れ式が行われます。機関車に携わる人、それを受け入れる人々の思いが通い合える機械は他には無いでしょう。非効率だからと努力しても報われず排除されコンピュータに制御され自動化した現代の中で人々が失ってしまったものが蒸気機関車には有ると思います。

今も昔も変わらぬ蒸気機関車の走るその姿は人々に郷愁と感動をあたえてくれます。「SL」と言う写真集の中で「蒸気機関車は人が作ったもので最も生き物に近い機械である。」の言葉があり昭和四十四年頃、写真を撮り始めた十三歳の少年のころを揺さぶった。



石のことなら
石の店 はぎわら



0800-888-1483

いしやさん

ホームページ

<https://www.hagiishi.jp>

墓苑企画、開発のご相談は、はぎわらへ ● 真壁本店 ● 水戸店 ● 埼玉各営業所

作務衣

白衣

改良服

襦袢

雪駄 足袋

株式会社
埼玉法衣

Tel 048-853-9624

Fax 048-853-8631

お仕立て券

お洗濯

その他特注

HP、公開中。



<https://www.saitama-houi.com/>

「本堂落慶式を終えて」

真言宗智山派

観音寺 矢口 阿照

茨城県仏教会広報担当、矢口阿照と申します。自坊本堂の建設が昨年十一月に落慶を迎え、無魔成満できたことをここに報告いたします。

観音寺旧本堂は、宝永七年（一七一〇年）に建立され、以来三百年を超える建築であった。主にケヤキ材が使用され、内陣の柱にはスリウルシが施されるなど重厚な趣きであったが、長い年月の経過により損傷した箇所も多く、シロアリ被害も発生するなど、長年の懸案となっていた。平成二十九年に現況調査をおこない、平成三〇年本堂建替への必要性を議論し臨時総会にて決定する。趣意書を各檀家に配布しご理解を求め、ご寄進を依頼、一軒あたりの額は決めず自由とした。

令和元年、建設委員会を立ち上げ計画を検討、当寺に代々伝わる既存の仏具（須弥壇、彫刻欄間など）の修復、再利用を念頭に、明るく清涼な空間作りを目指し、設計士とデザインを詰めながら会議を重ねた。浄財の寄進が予想よりも多く集まり、当初の設計より良いものとなった。

令和二年九月、建設業者入札説明会

が行われ、社寺建築において豊富な実績を誇る株式会社トヨタテ（山形県酒田市）を選定し、十一月に契約を結ぶ。

令和三年一月に遷座法要を行い、御本尊を庫裡の座敷に移動し、仮本堂とした。旧本堂を解体する際、重機が入る前に、仏具や古材、敷居などをひとつずつ丁寧に手作業で取り外していった。仏具の修復は福祿堂仏具店（福岡県八女郡）に依頼。空になった旧本堂の木組みなどからは当時の建築技術の高さが窺い知れ、それゆえに取り壊すのも大変であった。

令和三年三月地鎮式を行い、宗派の作法に則り、建設用地の中央と四方の角に土地の神様を鎮めるための地鎮仏具を納め、その後、檀家役員・工事関係者たちが「エイツ」という掛け声とともに砂の山に鍬入れを行い、工事の安全を祈った。

令和三年四月から基礎工事が進められ七月に完成、足場が組まれ、九月より木工事が開始された。足場の隙間から柱を立て、桁や梁が組まれる。軒を支える枯木を差し入れ、屋根が形造られ、令和三年十一月に上棟式を迎えた。読経の後、工匠式（曳綱の儀、槌打の儀、散銭散餅の儀）を執り行い、新本堂の無事の竣工と未来永劫を祈った。近年、餅まきの風習は廃れつつあるが、

この日は地域の人々が大勢集った。

十二月に入り瓦葺がはじまり、筑波おろしの寒風のなか屋根が形造られていった。年が明け瓦も葺き上がり、内装工事、左官工事など順当に進み、足場が解体されいくと、今まで隠れていた本堂の姿が現れ感動的であった。

令和四年六月、建設工事が完了し引き渡しとなった。七月初旬に修復を終えた仏具の納入があり、本堂内部が彫刻欄間などで極彩色に飾られ、遷座式を経て御本尊十一面観音をお迎えた。

八月、施餓鬼会で檀家の皆様にお披露目となった。十一月に落慶式を行うことを決定し、それまでに参道整備、天水桶、側溝、庭木の移動など外構工事を急ぐこととなった。様々な準備に追われながらも落慶式を迎え、御本尊入仏式、法要表彰式典を兼ね稚児行列を練り歩く大勢の子供たちが参列し、盛大に執り行われた。

現況調査から五年越しの建設事業となったが、現在の建設費、物価全般の高騰を鑑みると、それ以前に契約できたことは幸運なことであった。また価値ある彫刻欄間や須弥壇等、多くの仏具を修復し、再利用することで、旧本堂の面影を残すことができた。建設事業、特に寺院建築には多くの人が携わり、心労が絶えないが、仕上がった箇

総合御寺院用仏具専門店



福祿堂佛具店



0120-77-2969

ホームページ <http://www.sichifuku.jp>

本社・工場・展示場 〒834-0111 福岡県八女郡広川町日吉 1407

関東営業所 〒347-0063 埼玉県加須市久下 4丁目 1-2



QRコード



解体



地鎮式



落慶式



完成

所を見るにつけ、伝統様式の美しさに触れ、喜びも大きかった。

以上私事となりますが本堂建設の経緯をお伝えいたしました。寺院を運営していく中で伽藍の建築は一大事業であり、大変な努力、忍耐が試されます。厳しい世情の中、浄財を集めることは重責に感じましたが、檀家の皆様と苦勞、喜びを共にすることが本堂建設の大きな意義だと感じました。

檀家様、施工業者、教区法類、関係寺院の皆様のご協力に感謝し、これから建築を始める御寺院様にとって少しでも参考にしていただけたら幸いです。

社寺建築
株式会社 モトタテ



新築・改修・リノベーションなどのご提案をさせていただきます

山形県酒田市宮海字明治 99-1

TEL: 0234-33-4343 FAX: 0234-33-4346



<https://mototate.co.jp>

E-mail: info@mototate.co.jp

使用写真: 石岡市 観音寺



防犯カメラ

～寺社施工実績多数～
弊社にお任せください！

～防犯カメラ設置のメリット～

- 証拠として残る ⇒ 高い犯罪抑止力
- 目が届かない場所（死角）をなくす

タカギセキュリティは長年にわたって寺社に特化した防犯カメラ設置業務に携わってきており、重要文化財施設への施工実績も有する高い技術力と寺社の特性にマッチしたきめ細やかなサポートに自信を持っています。

～時代に対応した安心を～

顔認証機能付 サーマルカメラ + アルコールチェッカー



～サーマルカメラ&アルコールチェッカーの導入メリット～

- 来訪者の体温を瞬時に計測
- AI顔認証機能でセキュリティも万全
- PC接続により別室からの管理も可能
- 検温はマスク着用のままでOK
- アルコールチェックを行うことでより安全な車両運用管理が可能に

※サーマルカメラとアルコールチェッカーは個別に導入することも可能です

お見積もりは無料です

タカギセキュリティ 検索

株式会社 **タカギセキュリティ**

0297-66-0270

〒301-0046 茨城県龍ケ崎市入地町381-1
<http://www.takagi-security.com>

建物と想いと匠技を相承する

カナメの 社寺建築

株式会社 **カナメ**
栃木県宇都宮市平出工業団地38-52
TEL.028-663-6300

最新施工事例は
ホームページを
ご覧ください。



茨城県猿島郡五霞町 隆岩寺様 (本堂新築工事)

50年後、100年後の 信頼を大切にします

● 仏壇・仏具・寺院用具、取扱店 ●

真心で より良い品を より安く
お仏壇の **まつや**

総本店 / 東茨城郡茨城町長岡3523-39 ☎029-291-0033
那珂店 / 那珂市菅谷2297-1 ☎029-295-3740
石岡店 / 石岡市国府4-4-23 ☎0299-56-3794

仏像・仏具の作成、修復 お気軽にお問合せ下さい



修復前



古代仕上げ 修復後

教化の広場 教化部の活動の一環です。

生と死と

言葉集

今日より若い日は無い！

いつまでも
生きてるつもり顔ばかり

人生は生涯かけての一人旅
どこに向かつてどこへ還るか

今日私が無気なく無駄に過ごした
この一日は
あの人が生きてかった尊い一日で
ある

老いを知らぬは若さの高ぶり
病を忘れてるのは達者の油断
死を問わぬは生きているおごり

もうすぐ失うと分かったとき
はじめてその大切さに気づく

死ぬことが見えないと
生きることも見えていない

後でも言える
いつでも言える
「ありがとう」と「ごめんなさい」
そう思っていたから言えなかった

生まれたときから死のとき
が始まる
生は表口から堂々とやって
来るが
死は裏口からそつと忍びよ
ってくる

死ぬことの確実さを知るこ
とによって
生きることの尊さを不思議
さを知る

生のみが我等にあらず
死もまた我等なり

死ぬるとは人のことかと思いに
おれが死ぬとはこいつあたまん

人生は出会いによって豊かになり
別れによって深くなる

ついにゆく道とはかねて聞きしかど
昨日今日とは思わざりしを

急がねど旅の支度は整えり
迎への船はいつ来たるとも

生者必滅の理 口に語って心に知らず



《 ひ と 休 み 》

『ため息を一つつくと、幸せが一つ逃げていく』

こういう言葉を聞いたことがあります。確かに、ため息をついたり、愚痴をこぼしたりばかりしては、自分の心のエネルギーがどんどん外へ漏れ出してしまう、次へ進んでいこう！という意欲はわきません。

でも、同じ息をつくのでも、深呼吸をすると気持ちが落ち着き、心のエネルギーが充填され、次のステップへ向かおうとする前向きな気持ちが生まれます。数息観という修行方法もあるように、息を大きくゆっくり吸ったり吐いたりして、心を整え落ち着かせることは日常生活の中でも取り入れてみるといいですね。

『休む』の『休』は、人が木に寄りかかって、または木陰で、憩い、くつろぐという意味があります。きつとお釈迦様も6年間の厳しい厳しい苦行のあと、菩提樹の木陰でゆっくりと体と心を休め、ゆったりとした深呼吸の中で、心を自在に整え、そして法悦へと解放していったのでしょう。

どんなトレーニングにもインターバルが必要です。頑張りすぎず、無理しすぎないで、こころでちょっと「一休み」。ゆっくり大きく息をすって、ゆっくり長ーく息を吐いて、深呼吸。さあ、そしたら笑顔で再スタート！

合 掌

浄土宗 菊蓮寺 安西 仁人

予告

京成百貨店

創業一一五周年特別企画

大佛師 松本明慶 佛像彫刻展

【会期】令和五年四月二十日(木)～二十五日(火)

【会場】京成百貨店 七階 催事場

※最終日は午後4時閉場
※新型コロナウイルスの感染状況により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



十一面千手観音菩薩
(白檀・截金彩色 五寸 総高39cm)

5年
ぶりの
開催

会期中は、

- 約300余点の作品を展示・販売いたします。
- 仏像の修理や香木の加工も承ります。
- 松本明慶工房スタッフが常駐し、個人様、寺院様の古い仏像の修理や修復のご相談を無料にて承ります。



松本明慶先生 来店 予定

松本明慶先生は17歳で佛彫刻の道に入り、佛師活動53年の間に木造で19体もの大佛を制作されている現代を代表する佛師の一人です。鎌倉時代に運慶・快慶ら慶派の佛師によって確立された大佛工法は昭和の時代まで連綿と受け継がれ、慶派の流れを汲む野崎宗慶老師を通して、明慶先生へと伝授されました。創意工夫と祈りに溢れた佛像を全国各地へと送り出していますが、2015年高野山開創1,200年にあたり、四天王2体の修復と長らく失われていた広目天、増長天を納佛されました。

仏像に関するご相談・ご用命等も承っております。

お問合せ:営業政策部 神長(内線:2748)
本間(内線:2764)

掲示板

通年行事

- 九月 宗教法人実務研修 (第一回)
- 十月 県仏研修会
- 十一月 宗教法人実務研修 (第二回)
- 十一月 シャーラサンガ懇談会
- 二月 各宗派布教師会会長等懇談会
- 二月 各宗派青年会長等懇談会

自由投稿

募集のお知らせ

会報では会員の皆様から、短歌・俳句・写真・一口法話などジャンルを問わず、自由な投稿を募集しております。ご投稿の際は広報担当までご連絡ください。皆様のご投稿をお待ちしております。

広報担当 矢口阿照 (石岡市 観音寺)
TEL 0299-43-6479 FAX 0299-43-6722
メール kannonji@aroma.ocn.ne.jp

巻頭写真寺院

臨済宗妙心寺派 普門山禪福寺

普門山禪福寺は、承平元年(九三二年)、平将門の開基で、創建当時は密家(真言宗?)であったといわれています。その後、貞和元年(一三四五年)に夢窓国師を勧請開山として復興し、今に至っています。創建当時の本尊は十一面観音菩薩で、妙見大菩薩の化身と伝えられています。寺伝によると、将門が叔父の平良兼と子飼の渡しで戦った時、将門をたすけた童子が、実は妙見菩薩で、将門に「上総国の花園の寺にいる」と告げられ、これを迎えて本尊にしたのが、禪福寺の十一面観音菩薩であるといわれています。しかし、この時の本尊はいつの頃か失われてしまい、江戸時代に復元されたのが、現在の本尊であるとされています。なお、子飼の渡しの出来事について描かれた絵が、寺宝として伝えられています。現在の本堂は、昭和五十六年に建立されたものです。



私たちジブラルタ生命は、一人ひとりのお客様に生命保険の真価を正しく伝え、真に役立つ生命保険を提供し、保険金を支払うまで誠実に生命保険サービスを続けることでお客様とそこご家族に経済的な保障と心の平和をお届けします。

ジブラルタ生命は、【茨城県仏教会提携保険会社】です。茨城県仏教会は、ジブラルタ生命との連携により「退職金積立プラン」「終身保障プラン」加入の推進をさせていただいております。

ジブラルタ生命保険株式会社 宇都宮支社 宇都宮第二営業所 担当：阿見 とも子
栃木県宇都宮市大通り2-3-1 井門宇都宮ビル6F TEL：028-614-3601

茨城県仏教会

- 本部 (城里町 徳蔵寺)
会長：岸野 教司
住所：東茨城郡城里町徳蔵874番地
電話：0296-88-3037
- 事務局 (坂東市 長谷寺)
事務局長：倉持 達哉
住所：坂東市長谷1850-1
電話：0297-36-8255



<https://www.ibaraki-bukkyou.com/>
Mail : info@ibaraki-bukkyou.com

編集後記

会報『茨城仏教』第四十三号の発行に際し、ご執筆いただいた各宗派の僧侶の皆様、各協賛企業の皆様に御礼申し上げます。巻頭の岸野会長の言葉にあるように、コロナ禍以降、宗教・仏教文化は様々な問題に直面しており、地域の寺院を継承し運営してゆく我々にとっても困難な時代になってゆくと予想されます。そのような中、各宗派、僧侶の皆様の熱心な活動報告が寄せられ、伝燈を繋いでゆく姿に勇気付けられる思いです。地域の中に根付いた価値観を守りつつ、試行錯誤しながらも、多様な仏教文化が発展することを切に願います。この会報誌がその一助となれば幸いです。 合掌